

令和元(2019)年度事業報告

I 観光及び物産振興事業の企画・実施及び支援事業

1 受入体制整備事業

(1) 表彰事業

本県の観光振興・物産振興に功績があった者・施設等を、当協会総会において表彰した。

- ・ 観光及び物産事業功労者 1名
- ・ 観光及び物産事業功労施設等 2施設

(2) 催物等助成事業

国、県、県内市町、各地区観光協会等が主催する各種イベントを後援するなど、支援を行った。

- ・ 後援件数 28件

(3) とちぎ観光ホスピタリティ事業

観光関係団体（栃木県タクシー協会、栃木県バス協会）が主催するホスピタリティ研修に、補助金を交付した。

(4) 県域版DMO形成促進事業（県補助事業）

当協会は、令和2（2020）年1月14日にDMO候補法人からDMO法人に正式登録された。

ア DMO連絡会議運営等

DMOのマネジメント等を担う、外部専門家によるアドバイザー体制を敷くとともに、観光に係る多様な関係者による研究会を開催した。

イ 北関東三県連携観光商談会の開催

北関東三県の連携を図り、広域周遊観光を促進するため、北関東三県による観光商談会を開催し、観光施設及び観光地の紹介、周遊型観光モデルコースの提案、土産物等の紹介、販売を行った。

- ・ 開催時期 令和元(2019)年9月28日～29日
- ・ 開催場所 東京都 東京スカイツリータウン4階スカイアリーナほか

ウ 国の事業を活用した事業の実施

(ア) 地域における観光産業の実務人材確保・育成事業（観光庁採択事業）

人材の採用に関する事業及び人材の定着に関する事業を実施した。

(イ) バリアフリー旅行相談窓口設置に係る実証事業（観光庁採択事業）

バリアフリー旅行相談窓口のホームページを制作し、同ページを紹介するバナーをとちぎ旅ネット上に設置した。

(ウ) 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業（関東運輸局採択事業）への協力

那須エリアでの滞在型コンテンツ（主に欧米豪対象）を造成するため、受託事業者が実施する協議会・事業者研修・通訳案内士研修・ファミトリップ等に協力し、既存の滞在型コンテンツ等の磨き上げを行った。

エ 観光情報多言語情報発信事業

SNSを活用し、英語による情報発信及びフォロワー属性の把握等を行い、本県への外国人観光客への情報発信を強化した。

(5) おもてなしいちご隊管理運営事業（県委託事業）

県民一人ひとりが本県を訪れた方々への感謝の気持ちや思いやりを「おもてなし」として形に表すため、県内の企業、団体、個人等を「おもてなしいちご隊」として募集し登録を行い、「おもてなし」を実践することで、本県への更なる誘客促進を図った。

登録者には、登録証及び「おもてなしいちご隊缶バッジ」等を交付した。

- ・ 登録期間 平成29(2017)年8月1日～令和5(2023)年3月31日

※ 令和2(2020)年3月31日現在

- ・ 登録件数 延べ 1,377件
- ・ 登録人数 延べ 46,834人

2 とちぎ特産品推奨事業

(1) 第19回とちぎ特産品推奨審査委員会の開催

県産品の品質の向上、需要の拡大及び取引の増進を図るため、製造又は加工の最終工程が県内で行われた商品（県産品）の中から「とちぎ特産品」を推奨（有効期間3年間）し、当協会のホームページに掲載するとともに、「とちぎ特産品ガイド」を発行し、その普及、宣伝に努めた。

- ・ とちぎ特産品審査委員会開催日 令和2(2020)年2月13日
- ・ 申請業者数及び申請品目数 18業者 36品目
- ・ 推奨数 35品目（計186品目）

(2) 県産品流通実践セミナーの開催

県産品関係企業、流通関係企業、商工団体等との連携を強化し、県産品の流通販路の拡張を図るため、「県産品流通実践セミナー」を開催した。

- ・ 開催時期 令和元(2019)年10月10日
- ・ 参加者数 15名

3 栃木県のブランド力向上事業

(1) FOOD EX JAPAN 全国食品博 出展支援（県委託事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・ 開催時期 令和2(2020)年3月10日～13日
- ・ 開催場所 千葉市幕張メッセ
- ・ 主催 一般社団法人日本能率協会等

II 観光及び物産情報の収集・提供事業

1 観光・物産情報発信事業

(1) インターネット事業（県補助事業）

多様な観光・物産需要に対応するため、既存の観光・物産部門のみならず、商工・農林業団体や市町等との連携を図りながら、ホームページ「とちぎ旅ネット」を運営した。

ホームページは、最新の情報を提供し、シーズンの注目情報や画像を多く取り入れながら、多様化する観光客のニーズに応えるべく内容の充実を図った。

- ・ 令和元(2019)年度アクセス数 7,029,919PV（対前年度比100%）
- ・ メールでの問い合わせ件数 368件（対前年度比 98%）

内訳：パンフレット請求241件、質問等127件

ア 観光資源・名産品の紹介

観光写真ダウンロードコーナーにおいて、本県の観光資源や名産品の写真素材の掲示・提供を行った。さらに、機能改修を行い、申請及び許諾手続きの簡素化を図った。

- ・ 写真使用申請件数（紙申請） 167件
- ・ 写真使用申請件数（WEB申請） 186件 合計353件（対前年度比127%）

イ 情報の発信

ホームページにおいて、多様化する観光客のニーズに応えるため、各市町、各地区観光協会等から寄せられた情報を基に、シーズン毎の各観光地における注目情報や画像を多く取り入れる等内容の充実を図り、お祭りやイベント、花、紅葉の情報など最新の観光に関わる情報を発信した。

ウ 通訳案内士の紹介

栃木県内の通訳案内士及び栃木県地域限定通訳案内士の紹介を、ホームページにおいて行った。

(2) 観光情報発信事業（県補助事業）

ア 観光情報収集活動

県・市町・各地区観光協会・観光関係業者等から、メール、FAX等により適宜観光情報を総合的に収集するとともに、必要に応じ電話や現地に出向き写真撮影等の取材活動を実施した。

イ パブリシティ活動

毎月「観光情報誌」を作成し、東京の記者クラブ定例連絡会（毎月第3火曜日開催）に情報提供を行うとともに、記者クラブ以外のマスコミや旅行エージェント等にも情報を提供した。

ウ 観光・物産に関する問い合わせへの対応

電話やメール等による多種多様な観光・物産に関する問い合わせに、迅速かつ的確に対応した。

(3) 観光栃木の魅力を創る「女将の会」キャラバン支援事業

本県への誘客促進のため、近県のマスコミ、旅行エージェント等に向け観光キャラバン等を展開した「女将の会」に対し、支援を行った。

- ・ 実施時期及び方面 令和元(2019)年11月26日～27日、新潟方面

(4) インターネット事業（県委託事業）

とちぎ旅ネット内に県が実施する事業やキャンペーンを紹介する個別ページを制作し、広く県情報の発信を行った。

(5) 栃木県グルメガイドブック作成事業（県委託事業）

本県の食の魅力を県内外の観光客へ発信するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2022年とちぎ国体に向け、誘客促進ツールのひとつとして使用し、本県のブランド力の向上、県のイメージアップ、更なる観光客誘致へ繋げることを目的に栃木県グルメガイドブックを作成した。

- ・ 作成部数 6,000部

2 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン事業

(1) 「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン実行委員会委託事業

ア 「本物の出会い 栃木パスポート」事業

平成26(2014)年度から3年間継続してきた当事業を平成29(2017)年度からさらに3年間延長し、栃木県を訪れる観光客の方々に、より長く県内に滞在し周遊してもらい、更なる誘客促進を図るために、「本物の出会い 栃木パスポート」を発行した。

また、平成30(2018)年4月から新たに導入した電子版（アプリ版）を併用した。

- ・ 実施期間 平成29(2017)年4月1日～令和2(2020)年3月31日（3年間）

※ 令和2(2020)年3月31日現在

- ・ 参加おもてなし施設 986施設
- ・ パスポート発行所 100施設
- ・ パスポート発行冊数（平成26(2014)年度からの累計冊数）
 - ファーストステージ 延べ 518,143冊
 - セカンドステージ 延べ 26,663冊（ファーストステージクリア）
 - サードステージ 延べ 15,113冊（セカンドステージクリア）
 - 全ステージクリア 延べ 8,812冊（サードステージクリア）
- ・ 電子版パスポート（アプリ版）利用者数 12,232人（累計）
 - 内スタンプ1つ以上捺印ユーザー 4,144人
 - ファーストステージクリア 延べ 292人
 - セカンドステージクリア 延べ 77人
 - サードステージクリア 延べ 38人

イ デスティネーションキャンペーン（DC）専用サイト運営事業

平成31(2019)年の「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン（DC）期間中の特別企画などの情報を中心に発信し、本県への更なる誘客促進を図った。

ウ Welcome観光キャンペーンサイト制作事業

本県への更なる誘客促進を図るため、「とちぎ旅ネット」内に新たにWelcome観光キャンペーンの日本語版と英語版のサイトを制作し、キャンペーン期間中（令和2(2020)年

4月～9月)の特別企画などの情報を発信した。

(2) 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン推進協議会事業

ア 観光キャラバン (委託事業)

県外のマスコミ、旅行エージェント、バス会社、鉄道会社等に対し、本県への更なる誘客促進に向けた観光キャラバンを実施した。

(ア) 「本物の出会い 栃木」観光キャラバン (ふるさと観光展 IN 仙台)

a 観光キャラバン

- ・ 実施日 令和元(2019)年10月1日
- ・ 訪問先 JTB東北 国内仕入、近畿日本ツーリスト東北、日本旅行東北
- ・ 参加団体 栃木県(観光交流課)、足利市、宇都宮観光コンベンション協会、日光市観光協会、黒磯観光協会、那須町観光協会、当協会職員

b 第28回ふるさと観光展 IN 仙台駅

- ・ 実施日 令和元(2019)年10月2日～4日
- ・ 実施場所 JR仙台駅2階コンコース(ステンドグラス前)
- ・ 参加団体 宇都宮市、大田原市、さくら市、壬生町、那須町、日光市観光協会、那須町観光協会、那珂川町観光協会、当協会職員

(イ) 「本物の出会い 栃木」観光キャラバン (大阪センターを活用した観光キャラバン)

- ・ 実施日 令和元(2019)年10月23日
- ・ 訪問先 毎日新聞社大阪支社、JTB西日本仕入、日本旅行赤い風船
- ・ 参加団体 当協会役員(5名)、栃木県(大阪センター)、那須町、宇都宮観光コンベンション協会、当協会職員

(ウ) 台風19号被害に伴う復興キャラバン

a 東武鉄道本社表敬訪問

- ・ 実施日 令和元(2019)年10月30日
- ・ 訪問先 東武鉄道本社
- ・ 参加団体 当協会役員(3名)、栃木県(観光交流課)、日光市女将の会、とちぎおもてなしメイツ

b 北千住駅(東武)

- ・ 実施日 令和元(2019)年10月30日
- ・ 実施場所 北千住駅(東武)構内
- ・ 出席者 当協会役員(3名)、栃木県(観光交流課)、日光市、鹿沼市、日光市観光協会、栃木市観光協会、日光市女将の会、とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

c 大宮駅(JR)・池袋駅(東武)

- ・ 実施日 令和元(2019)年11月6日
- ・ 実施場所 大宮駅(JR)・池袋駅(東武)構内
- ・ 出席者 栃木県(観光交流課)・東京事務所、キャラバン隊・とちまるくん舎

む)、日光市、日光市観光協会、那須塩原市観光局、市貝町観光協会、
那須町観光協会、とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

d 大宮駅（JR）

- ・ 実施日 令和元(2019)年11月16日
- ・ 実施場所 大宮駅(JR)構内 ※「とちぎのいいもの」まるごと産直市内で実施
- ・ 出席者 栃木県（観光交流課、キャラバン隊・とちまるくん含む）、当協会職員

e 佐野駅・栃木駅・あしかがフラワーパーク駅（JR両毛線）

- ・ 実施日 令和元(2019)年11月17日
- ・ 実施場所 佐野駅・栃木駅・あしかがフラワーパーク駅（JR両毛線）構内
- ・ 出席者 栃木県（観光交流課）、佐野市、足利市、佐野市観光協会、栃木市観光協会、足利市観光協会、とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

イ 観光アプリ運営事業（補助事業）

平成29(2017)年2月28日、App Store、Google Play Storeから配信を開始した観光アプリケーション「とち旅 Tochi-tabi」の管理運営を行った。

- ・ ダウンロード件数 延べ24,370件

3 観光宣伝印刷物制作・配布事業（県補助事業）

栃木県の優れた観光資源や見どころなどの情報を網羅した全県マップを作成・配布し、県内各地への誘客促進を図った。

- ・ 観光地図 A1サイズ（長辺1回折後蛇腹5山）13万5千部

4 観光物産展等開催事業

(1) 県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進するため、県内外の百貨店等を会場として、次の観光物産展等を開催した。

ア 船橋市 東武百貨店船橋店（県委託事業）

- ・ 令和元(2019)年8月22日～28日（第22回栃木・福島の物産と観光展）

イ 札幌市 さっぽろ東急百貨店（県委託事業）

- ・ 令和元(2019)年6月27日～7月2日（さっぽろ東急工芸展）

ウ 宇都宮市 福田屋百貨店インターパーク店

- ・ 令和元(2019)年10月22日～28日（第3回神奈川と栃木の物産と観光展）

エ 宇都宮市 福田屋百貨店インターパーク店

- ・ 令和2(2020)年2月19日～24日（生活向上・スローライフ展）

オ 宇都宮市 福田屋百貨店宇都宮店

- ・ 令和2(2020)年2月26日～3月2日（第9回 とちぎ・いばらき・ぐんまの物産と観光展）

(2) 食品催事等の開催

ア 小山市 イオン小山店

- ・ 令和元(2019)年6月13日～17日 (栃木県フェア)

イ 川崎市 イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店 (県委託事業)

- ・ 令和元(2019)年9月11日～16日 (茨城・栃木県観光物産フェア)

ウ その他

栃木県等から紹介された以下の催事・観光イベント等へ参加した。

- ・ 「めっちゃええやん！ベリーグッドローカルとちぎプラザ」出展 (令和元(2019)年7月4日～5日：ディアモール大阪)
- ・ 「関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会」物販 (令和元(2019)年7月19日：宇都宮市文化会館小ホール)
- ・ キセキサマーフェスタ出展調整 (令和元(2019)年7月27日～28日：(株)キセキ関東甲信越栃木事業所敷地内)
- ・ 「アサヒビール吹田工場工芸品」出品 (令和元(2019)年8月3日～4日：アサヒビール吹田工場内)
- ・ マロニエプラザ感謝祭出展 (令和元(2019)年8月10日：マロニエプラザ)
- ・ 9月「とちぎのいいものまるごと産直市」(令和元(2019)年9月11日～13日：JR大宮駅内中央通路)
- ・ 「日本看護学会-在宅介護-学術集会」物販 (令和元(2019)年9月13日～14日：宇都宮市文化会館大ホール)
- ・ とちぎものづくりフェスティバル2019出展調整 (令和元(2019)年11月2日～3日：栃木県立県央産業技術専門校)
- ・ 宮の市出品 (令和元(2019)年11月2日～3日：バンバ広場付近)
- ・ 秋のふれ愛感謝市2019出展調整 (令和元(2019)年11月9日～10日：(株)キセキ関東甲信越栃木事業所敷地内)
- ・ 11月「とちぎのいいものまるごと産直市」出品 (令和元(2019)年11月15日～18日：JR大宮駅内西口イベントスペース)
- ・ 「とちぎ技術展示商談会 in NISSAN」物販 (令和元(2019)年11月22日：日産テクニカルセンター〔厚木市〕)
- ・ 「阪神百貨店いちごフェア」出品 (令和2(2020)年1月30日～2月6日：阪神百貨店〔大阪市〕)
- ・ 「とちぎのいちごや」出品 (令和2(2020)年2月5日～18日：ディアモール大阪)
- ・ 台風15、19号被害復興支援物産展出展調整 (令和2(2020)年2月19日：三井住友銀行〔丸の内〕)

5 アフターデスティネーションキャンペーン (アフターDC) 関連物産展等開催事業

- (1) アフターDCに合わせて、JRグループ等と連携し物産展等を展開することにより、県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進した。

- ア さいたま市 JR大宮駅西ロイベントスペース
 - ・ 平成31(2019)年4月9日～12日(栃木産直市 in 大宮駅)
- イ 小山市 JR小山駅コンコース
 - ・ 平成31(2019)年4月27日～29日(栃木アフターDCミニマルシェ in 小山駅)
- ウ 東京都千代田区 東京ミッドタウン日比谷
 - ・ 令和元(2019)年6月29日(五感で楽しむ「VERY GOOD LOCALとちぎ」)

6 伝統工芸品普及事業

(1) 常設展示場運営事業(県委託事業)

栃木県指定の伝統工芸品に対する理解と認識を深め、その普及宣伝を図るため、栃木県庁舎15階の「県政展示コーナー」に常設展示し、展示替を1回行った。

(2) 栃木県伝統工芸品展開催事業(県委託事業)

宇都宮市内ショッピングモールにおいて、伝統工芸品の展示・販売のほか、匠(伝統工芸士)による製作実演や製作体験教室を実施し、匠との交流の機会を設けた。

ア とちぎの伝統工芸品展 in ベルモール2019

- ・ 開催時期 令和元(2019)年8月10日～11日
- ・ 開催場所 宇都宮市 ショッピングモールベルモール1F

7 栃木県観光物産振興員配置事業(県委託事業)

「とちぎおもてなしメイツ」を活用し、観光振興や県産品の普及宣伝を図った。

- ・ 採用人員 2名
- ・ 採用期間 平成31(2019)年4月～令和2(2020)年3月

III 観光及び物産関係団体との連絡協調事業

1 観光展参加事業

(1) ふるさと観光展 IN 仙台駅

(公社)日本観光振興協会関東支部が主催する「ふるさと観光展」に共同出展し、宮城県の方々に、秋の関東甲信越静の観光情報を提供するとともに、ステージで観光PRを行い、関東甲信越静地域への観光客誘致を図った。

- ・ 開催期間 令和元(2019)年10月2日～4日
- ・ 開催場所 JR仙台駅(仙台市)

(2) 東武ファンフェスタ

東武鉄道(株)が主催する「東武ファンフェスタ」に参加し、来場者に本県の観光と県産品のPRを行い、観光客の誘致促進を図った。

- ・ 開催時期 令和元(2019)年12月1日
- ・ 開催場所 東武鉄道株式会社 南栗橋車両管理区(久喜市)

(3) 誘客促進対策事業

上記以外、本県への誘客促進に資する事業に、随時積極的に対応した。

- ・ 令和元(2019)年のアフターDC関連事業に係る事業

2 観光関連団体等との連絡協調事業

(1) (公社)日本観光振興協会連携事業

ア 情報センター事業

(公社)日本観光振興協会の全国観光情報データベース情報の更新を行い、県内全市町の情報を、(公社)日本観光振興協会のホームページを通じてマスコミ、旅行エージェント及び一般に広く提供した。

イ 関東ブロック観光宣伝資料作成事業(関東甲信越静観光協会・連盟協議会)

全国観光広域振興事業の一環として、関東甲信越静の観光ポイントを掲載した観光ガイドブック中国語版(繁体字)に修正を加え、台北国際旅行博等で配布し、台湾からの誘客促進を図った。

- ・ 冊子名称 MID JAPAN(関東甲信越静広域観光情報誌)
- ・ 作成部数 2,000部

(2) 観光関連団体等との連絡協調

東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本温泉協会等をはじめ、県内外の観光及び物産関係団体等と緊密に連絡、協調して本県観光の振興を図った。

IV 外国人旅行者に対する情報提供事業

1 第27回台北国際旅行博(ITF2019)

台湾からの観光客の誘致を図るため、関東ブロック広域観光振興事業推進協議会として出展し、本県観光をPRした。

- ・ 開催期間 令和元(2019)年11月8日～11日
- ・ 開催場所 台湾・台北市南港展覽館

2 外国人材活用インバウンド推進事業(県委託事業)

国が新たに創設した「外国人による地方創生支援制度」を活用して即戦力となる外国人材1名を採用し、外国人目線による県内観光資源の発掘・PR等の実施や、現地旅行会社等との連絡調整など、効果的な誘客活動を行い、外国人観光客数の一層の増加を図った。

(1) 採用期間 令和元(2019)年11月1日～令和2(2020)年3月31日

(2) 海外における観光誘客

ア 台湾誘客プロモーション

- ・ 期間 令和元(2019)年11月28日から12月3日
- ・ 内容 高雄冬季旅展における栃木県・関東広域連携事業推進協議会ブース運営、旅行会社へのセールスコール、高雄市観光局への表敬訪問

- イ 知事トップセールスに伴う観光PR（ベトナム・タイにおけるとちぎの魅力発信事業）
 - ・ 期間 令和元(2019)年12月15日から12月22日
 - ・ 内容 観光セミナー、商談会、現地バイヤー・旅行会社向け及び一般消費者等向け
トップセールス

V 観光・物産情報発信施設の運営

1 「おいでよ！とちぎ館」の管理運営

宇都宮市本町合同ビル1階に設置している当協会事務所兼直営店の「おいでよ！とちぎ館」において、観光及び県産品の振興機能の強化及び情報発信・提供を行った。

(1) おいでよ！とちぎ館の概要

- ・ 店舗面積 102.89㎡
- ・ 出展者 160業者
- ・ 営業時間 午前9時～午後7時（月～金）
 - ※ 令和元(2019)年7月1日～令和2(2020)年3月31日
 - (試行) 午前10時～午後6時（月～金）
 - 午前10時～午後5時（土）
 - ※ 祝日・年末年始を除く

(2) 利用状況

- ア 入館者数 19,716名（69名/日）
- イ 購入者数 6,619名（23名/日）

(3) その他イベント等

ア 県民の日店頭販売

「おいでよ！とちぎ館」前の共有スペースにおいて、県内食品事業者による物販を実施した。（令和元(2019)年6月15日）

イ 餅つき大会

「おいでよ！とちぎ館」前の共有スペースにおいて、春日野部屋力士による餅つき大会を実施した。（令和元(2019)年12月6日）

2 「おいでよ！とちぎ館」レジスター・販売管理システム導入

令和元(2019)年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられるのと同時に、消費税の軽減税率制度が実施されたことから、軽減税率に対応したレジスター及び販売管理システムを導入した。

VI 県産品の販売事業

1 「とちびより」の管理運営

JR宇都宮駅2階、駅ビルパセオ「とちぎグランマルシェ」内に出店している当協会直営店舗の「とちびより」において、県産品の普及・宣伝と販路拡張を推進するため、展示販売

を行った。

(1) 概要

- ・ 店舗面積 70.33㎡（改装前 62.13㎡）
- ・ 出展者 100業者
- ・ 営業時間 午前8時～午後9時（年中無休）

(2) 利用状況

- ・ 購入者数 178,892名（483名/日）

(3) 販売事業

ア 県産品の販売

県内で生産加工され若しくは主要な原材料が栃木県産である菓子・地酒・地ビール・焼酎・工芸品等の特産品を販売するとともに、いちご等の栃木県を代表する農産物を生産時期に応じて販売した。

イ 県産品オリジナルセット商品の販売

御中元、御歳暮等を中心に、県産品を詰め合わせた、県産品オリジナルセットを販売した。

ウ 物産展への参加及び外売の実施

集客の多い各種行事開催会場等において、随時外売を実施し、県産品の販路拡張、普及宣伝に努めた。

エ 宇都宮観光コンベンション協会の観光推進事業との連携

宇都宮観光コンベンション協会の観光イベント等の催事に合わせ、広く県産品のPRや特産品の販売を行った。

オ アフターDC企画商品展開

アフターDCに合わせ、宇都宮駅ビルパセオと協力して、栃木県ならではの企画商品を提案し販売することで、地域の魅力発信に繋げた。

(4) 新規県産品の発掘・紹介

県内市町や地域観光協会、商工団体、当協会の協力団体等と連携を密にして、商品の発掘及び情報の交換に努めた。

2 「とちびより」レジスター・販売管理システム導入

令和元(2019)年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられると同時に、消費税の軽減税率制度が実施されたことから、軽減税率に対応したレジスター及び販売管理システムを導入した。

Ⅶ 日光湯元レストハウス運営事業

日光湯元レストハウスを賃貸し、日光湯元地区の観光誘客促進及び観光客受入れ体制の強化を図った。

事業報告附属明細書

令和元年(2019)年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。